

ホホバ 頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

三月に入り、厳しい寒さも少しずつ緩んで来ましたが、冬の間、服の下に隠れたお肌のお手入れはおろそかになりがちです。春になる前に、全身のお肌をチエックしてホホバでお手入れしておきましょう。

ホホバで全身 しつとりスベスベ

冬の間、ホホバでお手入れはしていても、やはりお肌は乾燥しがちなものです。

特に、かかと、肘、膝などの角質化しやすい部分は、すぐに皮膚が厚く硬くなってしまいますし、逆に、すねや二の腕、わき腹などの皮脂の分泌が少ない部分も、乾燥して肌が



かさついてシワつぽくなりがちです。お風呂上りにたつぷりとホホバを塗って保湿しましょう。

今までとは違う 使い方も

ホホバご利用法で一番多いのが、白色透明はお顔のお手入れに、黄金色は髪のお手入れに、というもの。しかし、ホホバはお肌全般のあらゆる部分にお使いになれますから、

お顔と髪だけではなく、全身の気になる部分に使ってみて下さい。ちよつとした吹き出物や湿疹、すり傷などに、手軽に使えて無臭なホホバは、炊事の合間でも大丈夫。お口に入っても安全ですから、赤ちゃんのデリケートなお肌にも安心して使えます。

中にはペットのワンちゃんにもお使い、という方も。

アイデア次第で 使い方広がるホホバ

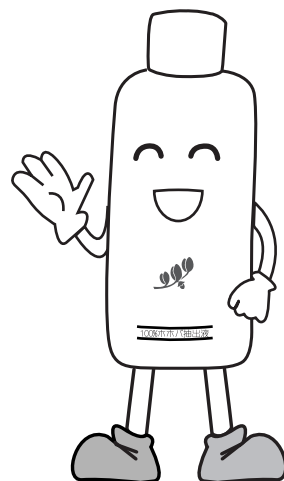
会員の皆様の中には、お身体に全身くまなくご愛用はもちろん、皮製品のお手入れにもお使いという方までいらつしゃいます。どうぞ、2〜3面をご参考に、新しいご利用法もお試し下さい。

もつと便利に！

全身どこにでも！

毎日の生活に

ホホバを有効活用！



ホホバをご愛用の皆様のご利用法は実に様々。
お顔に、髪に、お身体に……。健やかな毎日のため、
ご家族皆様で幅広い用途にご利用下さい。

毛先につけて枝毛防止

乾燥や静電気で、髪が傷みやすい
この時期、枝毛や切れ毛の防止に、
毛先をつまむようにしてホホバをつ
けておくと、髪の乾燥を防いで摩擦
から髪を守ってくれます。
又、髪染めの時には薬液に混ぜて
使うと傷みの防止に。

リキッドファンデに混ぜて

朝の忙しい時間、お肌のお手入れ
をして、潤いを整えてからのメ
イクは、なるべく時間をかけたく
ないもの。
そんな時は洗顔後、化粧水でお
肌を整えたら、ホホバとリキッド
ファンデーションを手の平で混ぜ

てからお肌につけましょう。
伸びも良く、時間も短縮でき
て一石二鳥です。

鼻の周り

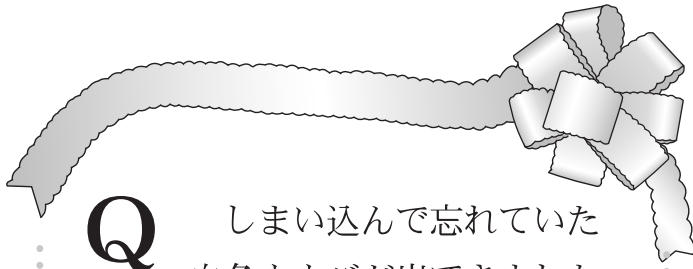
風邪を引いて、鼻をかむ事が多
いと、鼻の周りがガサガサになっ
て困る事はありませんか？

鼻風邪かな？と思ったら、鼻を
かんだ後は、
まめにホホバ
を鼻の下や
まわりに
たっぷり
と塗って
おきま
しょう。



耳掃除に綿棒につけて

耳掃除の時、なかなかすっきり



Q しまい込んで忘れていた
白色ホホバが出てきました。
多分、一年近く前のものだと思う
のですが、いつも通り使っても大
丈夫でしょうか？

(いつも顔に使っています。)



A いつもご愛用いただきありが
とうございます。

ご質問のホホバにつきましては、
いつも通りお使いいただけます。

ホホバは空気や熱の刺激に強く、
変質しづらい性質を持っていますの
で、一年程度で酸化して劣化する心
配はございません。

お届けから1年～1年半位を目安に、
安心してお使い下さい。

また、それ以上経ってしまった場
合でも、お顔や皮膚の薄い部分を避
け、手足やお体の保湿のお手入れ等
にご利用いただけます。

お年寄りのお肌は、
歳と共に皮脂だけでな
く水分も少なくなつて
きて非常にデリケート。
全身の保湿や、かか
とのひび割れなどの他
にも、寝たきりのお年
寄りの床擦れのケアや
予防にもお勧めです。
多めにたっぷりとお
使い下さい。

わきの下やすね、お顔の産毛等、

ムダ毛処理

としなかつたり、強くかきすぎてお
肌を傷つけてしまったり、という事
はありませんか？
ぜひ、綿棒の先にホホバをつけて
耳掃除をしてみてください。
お肌を守りながら、すつきりきれ
いに仕上がります。

小さなお子様や、赤ちゃんのデ

オムツかぶれ

ムダ毛の処理をした後のお肌は傷
んでいます。
傷んだ
お肌の
お手入れに、
ホホバを優しく
伸ばして肌荒れを防ぎましょう。



リケートなお肌のお手入れに、ホ
ホバがお役に立ちます。
オムツかぶれや湿疹など、お肌
のトラブルには、優しくホホバを
お肌に伸ばしてあげましょう。
純植物性100%のオイルですから、
赤ちゃんが舐めてしまっても安心
です。

褥痕(床ずれ)

お年寄りのお肌は、
歳と共に皮脂だけでな
く水分も少なくなつて
きて非常にデリケート。
全身の保湿や、かか
とのひび割れなどの他
にも、寝たきりのお年
寄りの床擦れのケアや
予防にもお勧めです。
多めにたっぷりとお
使い下さい。